

高浜町における海辺の賑わい創出

～まちづくりと漁港の有効活用 “海の6次産業化”～

福井県高浜町 産業振興課 吉田 義孝
中村 広花
2022.11.9



0. 高浜漁港 全景

現荷捌き施設（漁協事務所） ⇒ 新荷捌き施設（漁協事務所）



1-1. 高浜町の位置



Access

京都から

About
2時間

大阪から

About
2時間

名古屋から

About
3時間
30分

東京から

About
4時間
35分

姉妹都市

石川県志賀町

平成2年11月3日
= 姉妹都市提携調印 =

友好都市

韓国保寧市

平成19年10月18日
= 友好都市提携調印 =

町民指標

きずこう 生きがいのある 住みよい町
ひらこう 魅力と活力のある町
つくろう 心ゆたかで 健康な町
(昭和60年11月3日(町村合併30周年)策定)



マスコットキャラクター

「赤ふん坊や」

昭和63年11月10日誕生

海と漁業をイメージした元気でかわいい男の子のキャラクター。

昔、多くの臨海学校の子どもたちが高浜町を訪れ、赤いふんどしをつけてみんな泳いでいたそうです。その姿がモチーフになっています。

町章



輪部は高浜町の「高」と「ハマ」の文字を図案化したもので、中央の輪は高浜名勝八穴のひとつ「明鏡洞」を表すとともに若狭湾国定公園の中心を意味しています。上部の鋭角は永遠の希望と限りなき前進を示し、周囲の鋭角は明鏡洞を中心に観光都市として伸びゆく高浜の未来像をシンボライズしたものです。
(昭和37年1月制定)

町木



杜仲

杜仲は、中国南西部に自生している落葉高木で、町内でも多く植栽されており、杜仲の葉を使った杜仲茶は町の特産品となっています。
(昭和60年11月3日(町村合併30周年)指定・平成28年12月20日制定)

町花



ハマナス

ハマナスは、北方系バラ科植物で美しい花と果実をもち、本町全域に成育し人々に親しまれています。
(昭和41年7月9日制定)



1 - 2. 高浜町の概要

● 高浜町の位置

福井県の最西端（京都府舞鶴市と隣接） 総面積：72.40 Km²（県下17市町中17位）

● 地形

東西に細長い帯状の平坦地が開け、北に若狭湾を、南に飯盛山脈を背にし、西に「若狭富士」と呼ばれる青葉山がそびえている

● 沿革

昭和30年2月に、旧高浜町・和田村・青郷村・内浦村の1町3村が合併（合併後、63年）

● 人口

総人口 9 8 7 8 名 世帯数 4 2 6 6 世帯（令和4年9月末時点）

● 産業

昭和40年頃 第1次産業が中心（就業率は48.7%）

→ 米と野菜を中心とした農業

→ 定置網による漁業

昭和44年 第2次産業が発達

→ 内浦国際貿易港が開港

→ 大手合板会社の誘致

昭和49年 関西電力(株)高浜発電所 1号機運転開始



就業者総数 5,691人

⇒第1次産業 約7.5%、第2次産業 約26.7%、第3次産業 約64.8% と

法人数

昭和43年度 約60社

昭和60年度 約200社

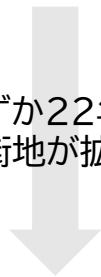
平成29年度 約293社

↓
➡ 産業構造が大きく変化

1－3. 高浜町市街地の変遷

1963年
昭和38年

わずか22年間で
市街地が拡大した。



1985年
昭和60年



国道27号の開通前。
旧丹後街道が
国道だった時代。



国道27号開通
南側へ市街地が広がる
（現在のカタチ）

2-1. コンパクトシティ構想

人口の減少や少子高齢化などの社会環境の変化に対応し、持続的な都市構造への転換

- ・高齢者でも歩いて生活出来る集約された町
- ・魅力、賑わい創出による中心市街地への居住推進、地場産業の活性

～高浜町コンパクトシティ～



漁港の賑わい



漁港から見た青葉山



シンボルロード



ゾーン内道路



庁舎移転



2-2. コンパクトシティ構想2

平成21年（2009年）よりスタートしたコンパクトシティ構想。

その中で、にぎわい・景観系として高浜漁港が位置付けられ、再整備に向けて動き出した

A.にぎわい・景観系・・・ 漁港ゾーン／城山ゾーン

B.まちなか暮らし系・・・ 漁村文化ゾーン／伝統的民家ゾーン
まちなか商店ゾーン／安心住宅ゾーン

C.都市機能集約系・・・ 商業・住民サービス中核ゾーン
安心・機能集約ゾーン



コンパクトシティ構想を基に策定された高浜町都市計画マスタープランでは、高浜地区を大きく3系統「Aにぎわい・景観系」「Bまちなか暮らし系」「C都市機能集約系」に分類し、8つのゾーンを設定している。

高浜漁港は、「Aにぎわい・景観系」の「漁港ゾーン」に位置付けられ、高浜地区のにぎわい形成のけん引役を担う事業とされている。

3-1. 高浜町の漁業の概要

● 高浜漁港の概要

種 別：第2種

所在地：高浜町事代、塩土、西三松

管理者：福井県

漁港の指定：昭和26年7月28日

管理者の指定：昭和28年10月1日



● 主な漁業

漁業者数：259名

漁協自営定置（大型定置）1経営体 39人

小型定置10経営体 20人

漁船漁業（刺網45名、延縄35名、一本釣13名、たこつば15名、なまこ桁曳等46名） 154人

採貝藻（サザエ、アワビ、ワカメ等） 35人

養殖（内浦湾のタイ、フグ等魚類養殖） 11人



● 沿革

平成13年に4つの地区より合併し、現在の若狭高浜漁協に一本化。

町内には4漁港、2港湾漁協本所（高浜漁港）の他に、和田支所（和田港）内浦支所（上瀬漁港日引地区）、音海支所（音海漁港音海地区）及び小黑飯事務所（小黑飯漁港）と3支所1事務所が町内に立地

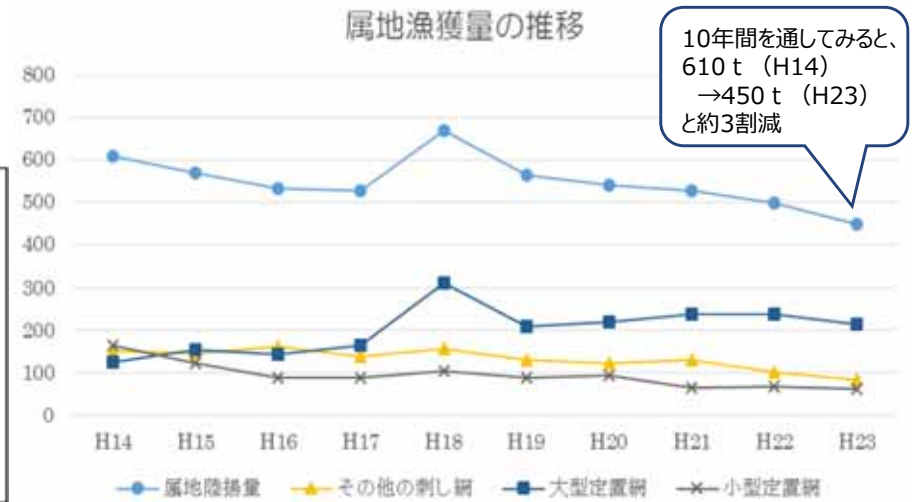
● 課題と現状

漁獲量の6～8割を自営定置網に依存しており、定置網の漁獲が漁協経営の柱になっている。定置網は回遊性資源に依存するため、漁獲が不安定でまた天候にも左右されるため、リスクが高い。また、施設老朽化に併せ、漁業者の高齢化や魚価の低迷、出荷体制の見直しなどの課題がある。しかし、青壮年部の活動活性化や新たな団体の立ち上げ（藻場の保全）、試験養殖へのチャレンジも進んでいる。



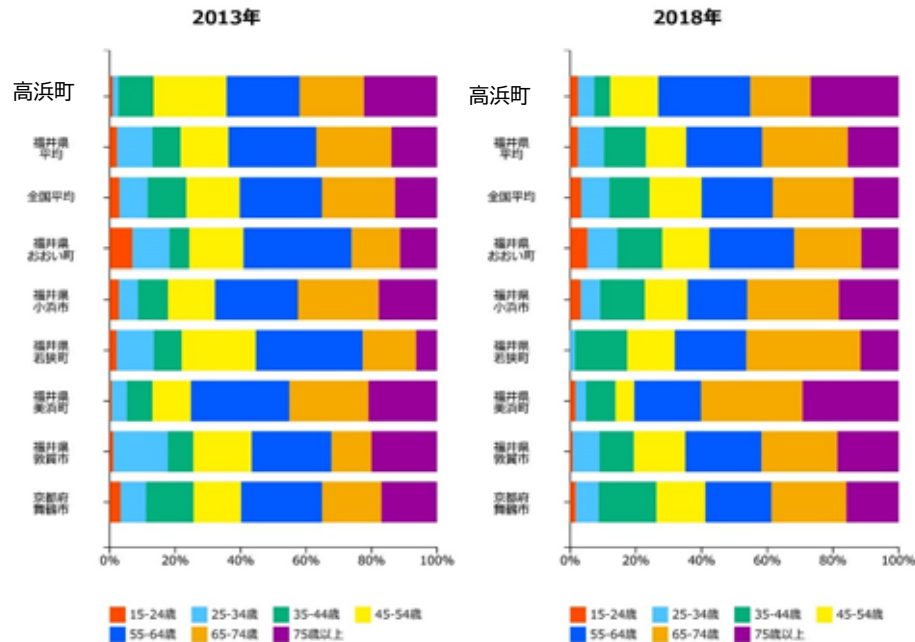
3-2. 高浜町の水産業の現状

- ・漁業者数は平成12年～14年をピークを迎え、漁船数は魚価向上で漁師バブルにより1漁業者が数隻保有していた平成16年にピークを迎えた。
- ・平成14年から平成23年の高浜漁港における属地漁獲量の推移をみると、平成18年に大型定置網の大漁によりいったん漁獲量が上昇するものの、H22年より減少傾向がみられる。



海面漁業就業者の年齢構成

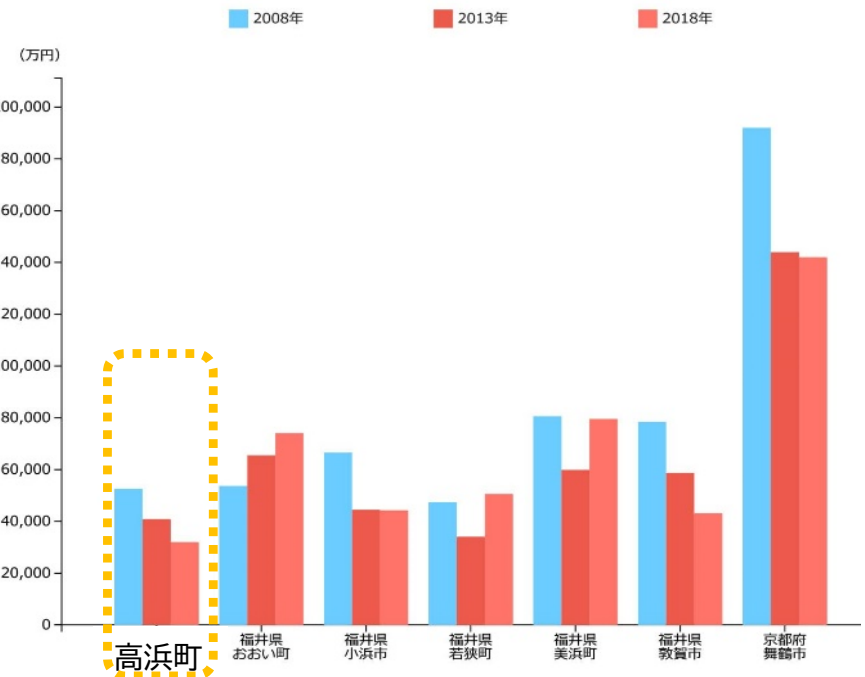
指定地域：福井県高浜町
性別：総数



高浜町漁業従事者は近年急速に高齢化しており、若手漁師の育成が緊急の課題といえる。

海面漁獲物等販売金額（総額）

指定地域：福井県高浜町



3-3. 高浜町の水産業の現状（主要漁獲魚種の傾向）

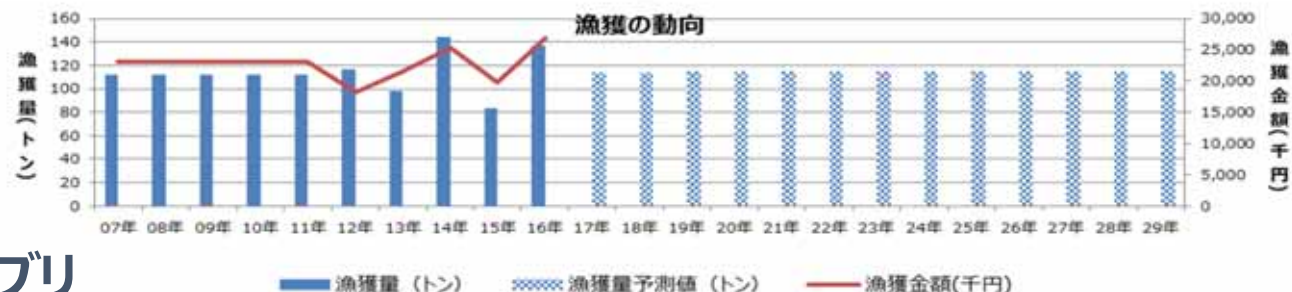
主要漁獲魚種の傾向

主要漁業である定置網漁業の主な対象である魚種の生産量・産出額の動向をみると、アジ類の生産量と産出額は共に減少傾向、サワラ類の生産量と産出額は共に増加傾向、ブリ類の生産量・産出額は増減が大きいいため、不安定である。

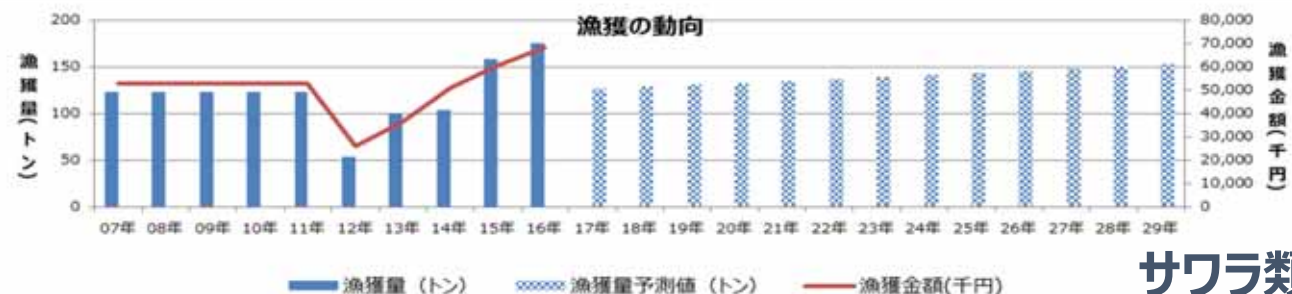
また、夏季になると盛んになるタコ漁（ツボ・籠）においても1度平成15年に下がったものの、その後は生産量及び産出量は増加傾向にある。

今後、生産量は減少傾向で推移していくと予想されるが、生産量については鮮度管理や衛生管理による高付加価値化が期待できる。

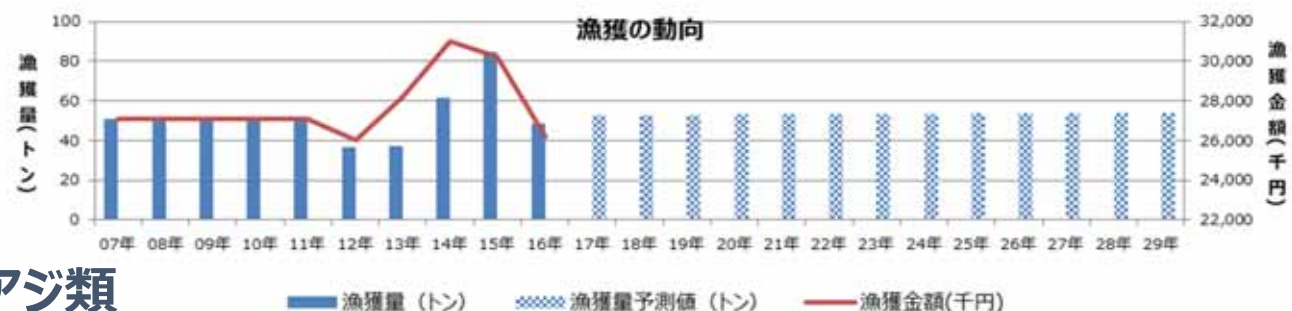
ブリ



サワラ類



アジ類



タコ類



3-4. 課題

1. 施設の老朽化による高付加価値化の限界

漁協本所、市場が老朽化著しく、鮮度管理が困難。

不効率な分散した出荷体制。

2. 漁獲変動が大きい

水揚げの6~7割を占める定置を始め天然資源依存型漁業が中心のため、漁獲変動が大きい。

3. 6次産業システムの未形成

観光を活用した付加価値型の地場流通等の6次産業システムが未形成である。

■高浜漁業協同組合



4-1. 高浜漁港再整備事業のプロセス

“人を動かす スタートアップ期”

スタートアップ期

- 地域資源の発掘
- 目標の設定
- 基本計画の策定
- 意識醸成

平成21年
「コンパクトシティ構想」策定
賑わいゾーンとして高浜漁港が位置付け

平成24年
漁業者・仲買人を中心とした
高浜水産業振興協議会 発足

平成25年・26年
高浜漁港再整備基本計画策定

平成26年
浜の活力再生プラン 策定

平成27年
高浜水産業振興協議会
「高浜漁港再整備計画（案）」
推進の合意

平成28年 **高浜漁港再整備事業**
水産庁へ事業要望
浜の活力再生交付金

準備期

- 計画の具体化
- 計画実現のための合意形成
- 福井県との連携

平成29年
高浜水産業公開検討会議 開催

平成29年～
6次産業検討委員会開催
高浜漁協経営検討委員会開催

平成30年～
漁協経営改善のため
外部より参与として人材派遣

平成30年
漁港用地形質変更及び
土地利用計画の変更

平成30年
6次産業施設設計
農山漁村振興交付金



実行期

- ハード整備・供用開始
- 運営体制の構築
- 人材育成

平成31年
漁具倉庫整備
浜の活力再生交付金

令和元年
地域商社（株）まちから 設立
漁協所有加工場を改修

令和2年
6次産業施設の運営見据え
（株）うみから 設立

令和2年
臨港道路整備・物揚げ場改良
鮮度保持施設改修・荷捌き施設
実施設計
水産業競争力強化緊急施設
整備事業

令和2年
6次産業施設整備
農山漁村振興交付金

自走期

- 取組み機能単位ごとのハード・ソフト運用
- 持続可能な運営体制の構築
- 海業による地域経済活動の活性化

令和3年
6次産業施UMIKARA
オープン

令和3年
荷捌き施設整備 着手
水産業競争力強化緊急
施設整備事業

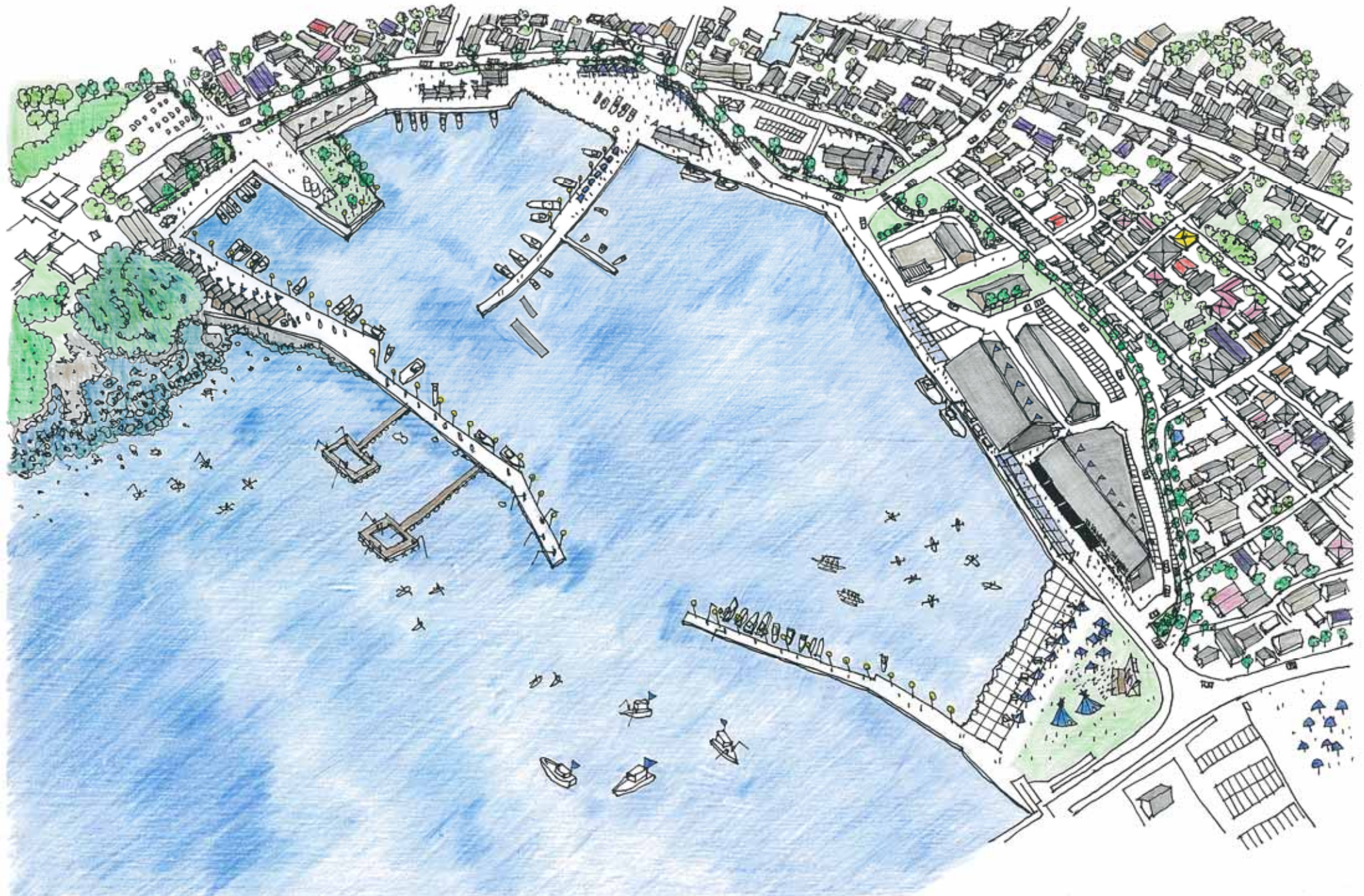
令和4年
出荷選別施設整備 着手

令和4年
海辺の賑わい基本計画



4-2. 高浜漁港再整備全体イメージ図（計画当初）

多様で魅力ある漁業経営と地域づくり



4-3. 第1期浜プランに基づいた魚価向上の取り組み



新鮮おさかな 若狭高浜 漁港市

開催日時
平成28年11月19日(土)
10:00~13:00

場所
若狭高浜漁協
駐車場内特設会場

漁協直売

鮮魚・加工品
特価で販売します!
ぜひお越しください!!

主催:高浜水産振興協議会 問合せ:72-1234
協力:若狭高浜漁協、若狭高浜漁協女性部



H27~
漁港市の開催



4-4. 高浜水産業公開検討会議の開催

これからの「高浜の漁業」について漁業関係者全員で気軽に「対話」できる場を企画しました

「漁業ワールドカフェ」開催



会場 高浜公民館多目的ホール

日時 平成29年 8月29日(火)
15:00~17:30

【ワールドカフェ】とは

参加者に1席4名程度に分かれてもらい、聴講等を楽しみながら少人数でゆったりと対話をする。という作業を繰り返す簡単なワークショップです。なお、このワールドカフェでは、出てきた話に対して反対意見や否定は不要です。1つでも多くの「想い」を出し合って、それを全員で共有します。

「漁業ワールドカフェ」開催の目的

- ★これからの高浜の漁業について関係者全員で考えてみる
- ★年齢や立場を超えて対話し、様々な「想い」を共有する
- ★自分の「想い」を多くの関係者へ発信する



枠を超えた「対話」で漁業の未来を全員で考える

この「漁業ワールドカフェ」は、年齢や立場などを超えて漁業関係者全員でこれからの漁業について考え、対話し、共有する機会を設けるため企画しました。なお、このワールドカフェのルールで否定や反対の意見は不要とされているので、皆さんの漁業に対する「こうなればもっと漁業が盛り上がるのでは!?」を思う存分、話し合ってみませんか?



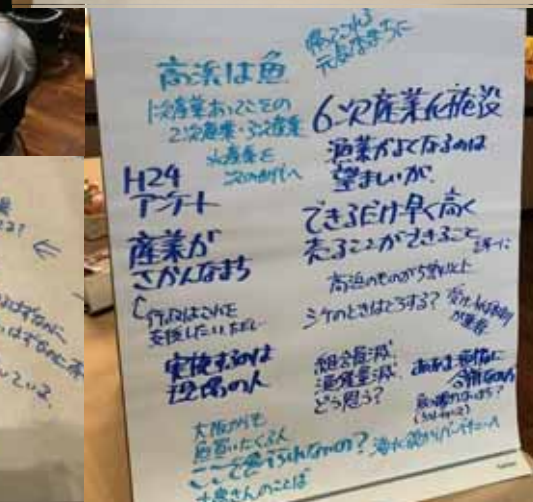
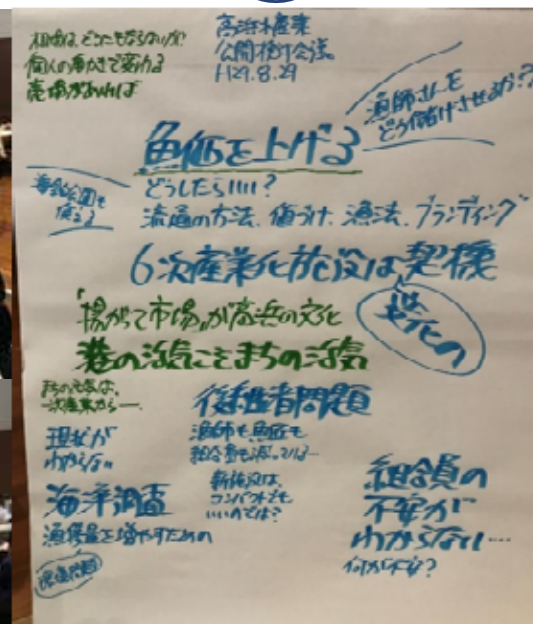
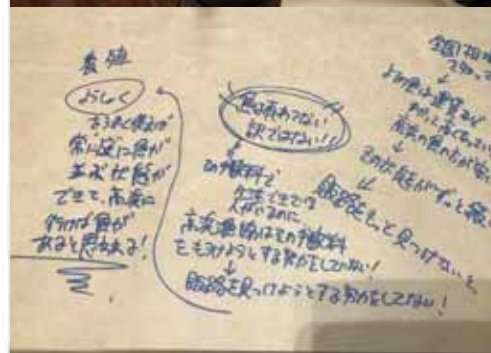
ここで出てきた「想い」から未来の漁業を大きく変えるアイデアが生まれるかもしれません。



高浜町の発展には
港の発展・活性化が必要

水揚げされた魚を
食べられる場所が必要

高浜と言えば魚、
水産業を次の世代へ



4-5. 福井県高浜漁港再整備基本計画

高 浜 町

多様で魅力ある漁業経営 と地域づくり

『福井県高浜漁港再整備基本計画』

平成 30 年 2 月

(仮称) 高浜漁港再整備検討委員会

1. 漁業経営の転換シナリオ

もくじ

1. 漁業経営の転換シナリオ (P 1)
2. 高浜漁港の現状 (P 5)
3. 課題 (P 9)
4. 理念と方向性 (P 10)
5. ヴィジョンと3つの戦略 (P 11)
6. 施設計画 (P 13)
7. 工事費 (P 17)
8. 入込み予測 (P 19)
9. 収支計画 (P 21)
10. 高浜漁業協同組合と6次化事業体 (P 22)

4. 事業主旨 (理念と方向性)

■理念

多様で魅力ある漁業経営と地域づくり

■方向性

その1 魚の付加価値化

その2 1次・2次・3次連携による多様な事業づくり

その3 漁師・経営人材の育成

重要！

①安定供給 →□金庫網など、定置網での水揚げ調整
□効率化(老朽化による設備更新含む)
□IT化での情報共有と迅速化
□資源管理

②付加価値化 →□衛生管理された市場整備
□しめ方の工夫による魚価格アップ
□独自ブランド魚種づくりによる単価アップ
・アマダイ(小型のぐじ)
・カワハギ、ハモ等

③六次化 →□一:専任の買い手・産販員の設置による売り上げ増
□二:加工業の強化による売り上げ増
・定置網漁獲の活用等
□三:直売小売機能の新設による付加価値化

3つの戦略

①漁港再整備

□効率化された漁港と衛生管理された市場

②六次産業施設の新設

□一次産業の付加価値化を図る加工と販売
□笑顔あふれる地魚文化の提供

③地域の総合力による「まちの顔」づくり

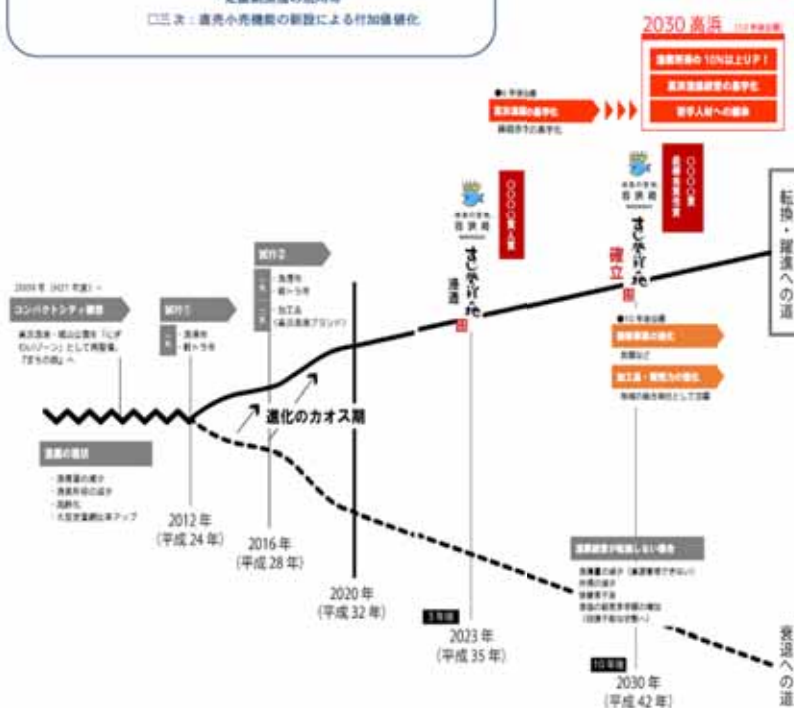
□一次、二次、三次ノウハウの集積
□すし発祥の地ブランドの発信
□地域の問屋的役割

個別的

漁協の
担う分野

六次化
事業体の
担う分野

地域的



高浜水産業振興協議会
開催の様子



5-1. 漁港施設用地利用計画（変更前）



5-2. 漁港施設用地利用計画（変更後）



5 - 3. 漁港施設用地利用計画（整備前）



道路用地 漁具保管修理施設用地 漁港厚生施設用地 単独用地

5 - 4. 漁港施設利用計画（整備前）

6次産業施設建設地



ヒラメ中間育成場



漁具倉庫（塩土側）



ヒラメ中間育成場



5 - 5. 漁港施設用地利用計画（整備後）



道路用地 漁港環境整備施設用地 漁港厚生施設用地 単独用地 漁港関係補助事業用地

6-1. 高浜漁港再整備主要事業の概要

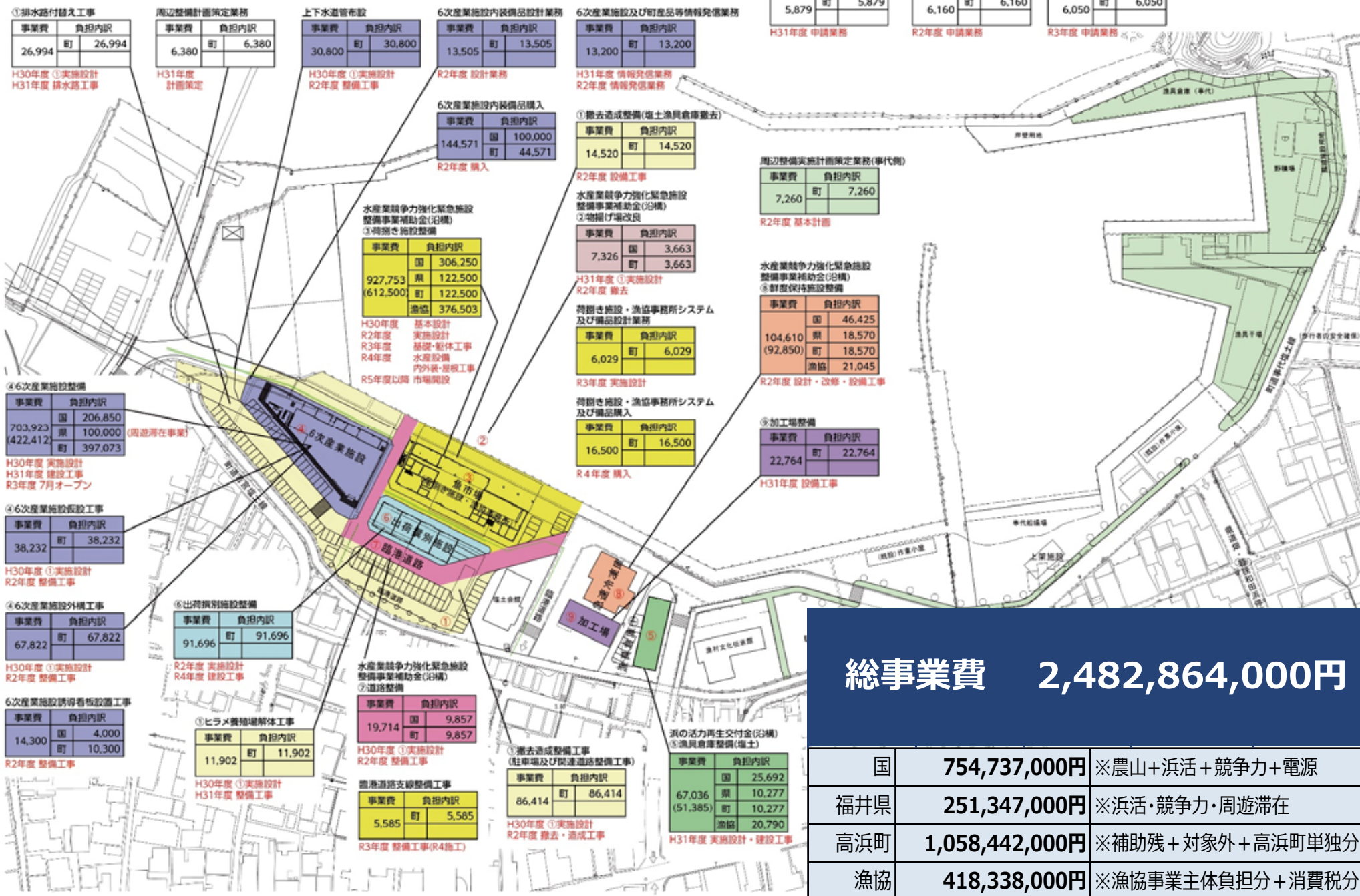


6-3. 高浜漁港再整備全体イメージ図（現在）



6-2. 高浜漁港再整備事業費概要図

高浜漁港再整備事業概要図（全体事業：H31年～R4年度）





そして…

高浜漁港は高浜漁交(ぎょこう)へ

0. 高浜漁港 全景

6次産業施設「UMIKARA」周辺



I. 海の6次産業化

日本の家庭で 減らし続ける魚食

図3：魚介類をよく購入する理由（複数回答）



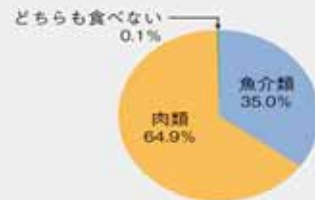
資料：農林水産省「食料・農業及び水産業に関する意識・意向調査」（令和元（2019）年12月～2（2020）年1月実施、消費者モニター987人が対象（回収率90.7%））

図4：魚介類をあまり購入しない理由（複数回答）



資料：農林水産省「食料・農業及び水産業に関する意識・意向調査」（令和元（2019）年12月～2（2020）年1月実施、消費者モニター987人が対象（回収率90.7%））

図1：魚介類と肉類の購入状況



資料：農林水産省「食料・農業及び水産業に関する意識・意向調査」（令和元（2019）年12月～2（2020）年1月実施、消費者モニター987人が対象（回収率90.7%））

図2：魚料理の好意度



資料：（一社）大日本水産会「2019年（令和元年）度水産物消費嗜好動向調査」

引用：TSURINEWS・サカナ研究所

魚食が敬遠される 理由5つ

- 1、生臭い
- 2、食べるのが手間
- 3、調理が面倒くさい
- 4、ゴミがくさくなる
- 5、お肉の方が割安

①

漁獲変動が大きく
また魚価も低迷



②

後継者不足
漁師の高齢化



③

漁協加工事業は
収益が減少傾向



④

魚食離れ

漁業再生のために、「魚の価値」を上げる。＝ 海の6次産業化

I-②. 海の6次産業化

1次：生産者

2次：加工

3次：販売所

高浜6次産業化事業の見える化がスタート！



1次産業

生産者（漁師など）

魚価UPで収益UP

2次産業

加工品の
開発・製造



高浜漁協



加工場



加工品の卸し
イベント/広報企画運営



3次産業



6次産業化施設（スーパー、飲食、ショップ）

UMIKARA

6次化新会社「(株)うみから」

・物販

（スーパー、セレクトショップ）

・飲食（食堂、テラス）

・イベント（昼市など）



地域商社 法人

地域商社 （株）まちから

- ・水産加工場「はもと加工販売所」運営
- ・UMIKARA内「UMIKARA select」運営
- ・イベント／広報PRの企画、運営
- ・通販サイトの運営





延床面積：1590.89m²

【R3.7.7-R4.7.7】

入込数：278,465人

年 商：200,275千円



延床面積：1590.89㎡

【R3.7.7-R4.7.7】

入込数：278,465人

年 商：200,275千円

I - ④. 海の6次産業化の実績

はもと加工販売所 (株)まちから



令和元年創業

1期目：7,365千円

2期目：20,249千円

3期目：54,000千円

直営(販売所・セレクトショップ) 37.4%

外商(UMIKARA卸・給食等) 58.5%

通販(自社他社EC・ふるさと納税) 4.1%

Ⅱ. 海の6次産業化のプロセス “人が動かす ホップステップジャンプ”

はじめのホップ

～UMIKARAで魚を食べてもらう～
味わう漁業

- ☑加工事業の民間委託
- ☑WTBPで藻場の保全
- ☑イワガキの試験養殖
- ☑青壮年部でイベント参加
- ☑資源保護のため海底清掃活動
- ☑エンジン省エネ化
- 生け簀に直接魚を持ってくる
- うみからメ魚
- （神経締したものに高値を）
- ☑イベント参加（UMIKARA）
- オールドルーキーの
- セカンドステージの場
- WTBPで藻場の保全
- ⇒ウコの利活用
- 漁船機器の高度化
- 海底清掃活動の広報

自らステップ

～高浜漁業を身近に感じてもらう～
知る漁業

- 大型定置船、小型船の荷揚げ
- うみからメ魚を定番化
- ☑漁師イベント
- （会場への着岸）
- 漁協イベント（セリ体験など）
- オールドルーキーの
- セカンド収入化
- WTBPで藻場の保全
- ⇒ウコの利活用⇒販売
- イワガキ養殖の出荷
- スマート水産業の導入
- 若手の養殖チーム推進
- 海底清掃活動の広報
- ⇒ゴミをリサイクルして商品化
- 新規漁業者2名雇用

ジャンプで魅了

～魚で人を、未来をつなぐ～
結ぶ漁業

- 船名直売り（鮮魚ボックス）
- 船から荷揚げしての直売り
- 遊漁の拡充（釣り+遊覧）
- 漁業体験（タコ壺など）
- うみからメ魚をブランド化
- 漁師直営のテナント借り
- オールドルーキーのアイドル化
- シェフには作れない、
- 本場漁師の漁師飯販売
- WTBPで藻場の保全
- ⇒ウコの利活用 ⇒販売⇒畜養
- 白地利用のイワガキ養殖
- IT化（情報発信の構築）
- 新規自営事業
- （陸上養殖等）
- 海底清掃活動の広域化
- 新規漁業者5名雇用
- セリ人増加
- 漁協HP作成
- 漁師グッズ

次なるステージ

～海に活気を、人に笑顔を～
高浜漁交(ぎょこう)

次のステージ
に向けて



高浜漁業の
転換

ビジョンと現実を形に

今

新たな取組に挑戦

高浜漁港
グランドオープン

高浜の漁業を盛り上げる

やりがいと想い！を魅せる

2年後

高浜の漁業を変える

やりたい！やるぞ！が溢れる

5年後

日本に誇れる高浜の漁業

コンセプト

高浜の漁業をなんとかする

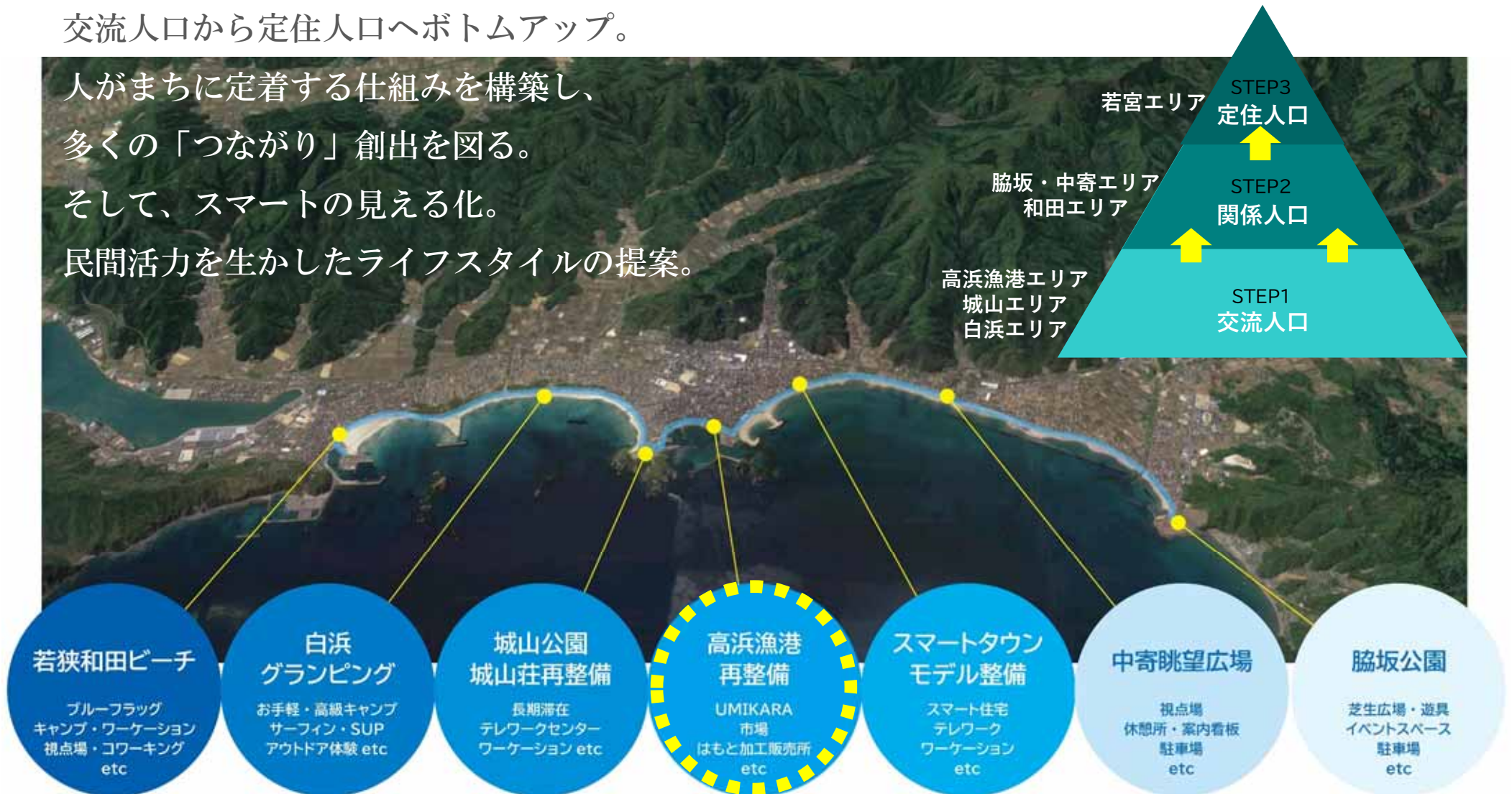
居心地の良い、公園のような空間づくり

シーサイドライン

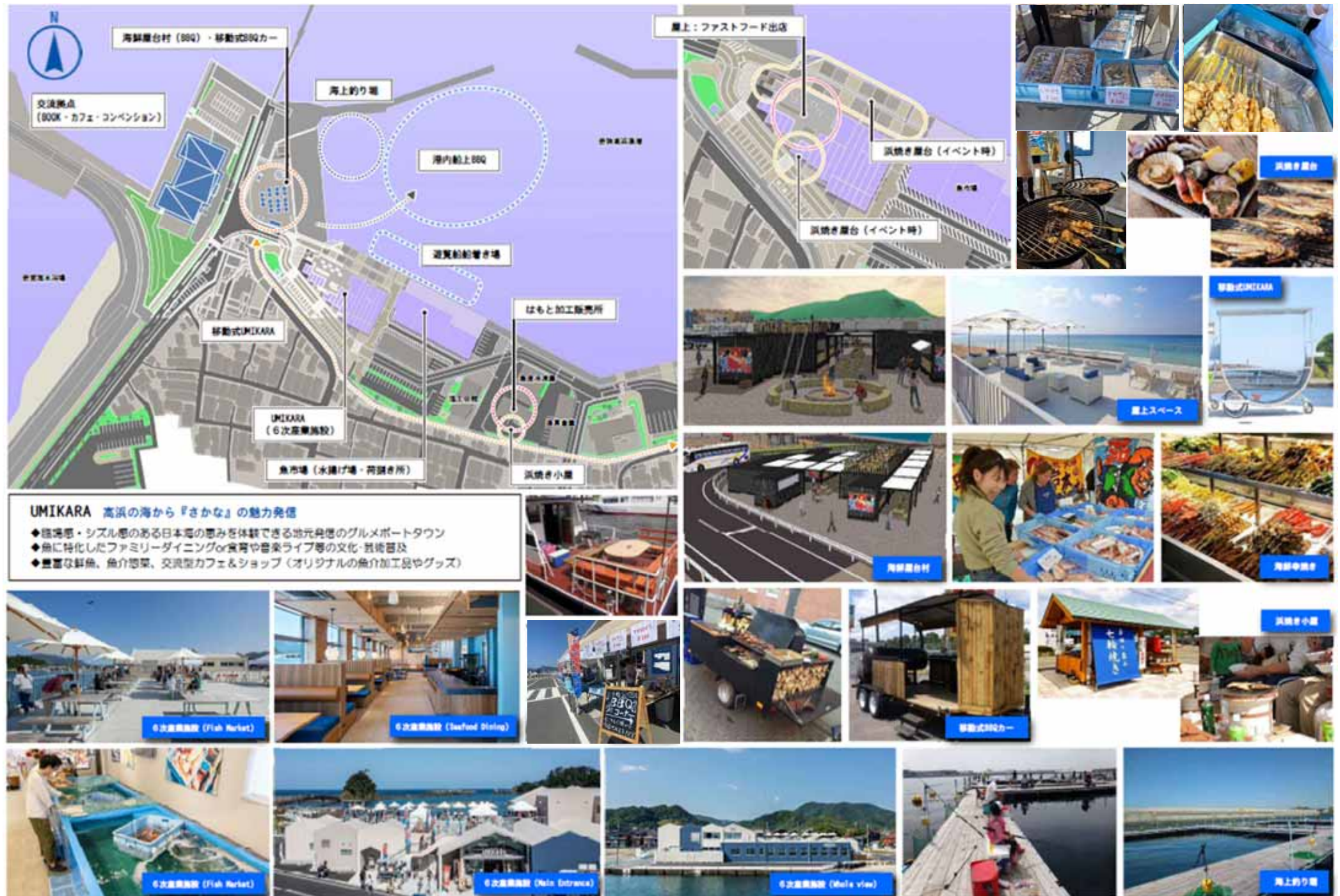
若狭和田から脇坂までの約8キロ続く海沿いゾーン

交流人口から定住人口へボトムアップ。

人がまちに定着する仕組みを構築し、
多くの「つながり」創出を図る。
そして、スマートの見える化。
民間活力を生かしたライフスタイルの提案。



Ⅲ-①. 海辺の賑わい概要図（塩土側）



Ⅲ－②. 海辺の賑わい概要図（事代側）



うみの駅 高浜の海から『まち』の魅力を情報発信

- ◆豊かな自然環境と歴史や文化という貴重な地域の観光資源情報を『うみの駅』から発信
- ◆DIXYで旧岡崎站所を青葉山へのロケーションが楽しめる「うみカフェ」としてリニューアル
- ◆塩土〜喜代間を、潮風を感じながら「そぞろ歩き」が楽しめる歩行空間を整備



IV. 人がつくる、人をつくる、漁港

パース図（構想）



漁
攻
チャレンジ

漁
港
集う

漁
幸
海・山・人

漁
広
波及する

漁
交

「獲る、作る、売る、伝える」をつなぐ。

誰もが活躍できるステージの場

- ・安心して美味しい魚介を買える
- ・子供の魚食教育に役立つ
- ・センスがよい
- ・共感できる

消費者

- ・安定した生活を続けていける
- ・やりがいがあり、成長できる
- ・SDGsに纏わる仕事に誇りにもてる
- ・定年まで働きたいと思える
- ・わくわくする

雇用

商工業

- ・認知や売上につながる
- ・地産外消の推進

ヒトとさかなの交差点

高浜漁交

地元

- ・地元の産品がいつでも食べられる
- ・地元を自慢できる
- ・地元の活性化につながる

漁業者

- ・認知や売上につながる
- ・獲る魚にも自信がもてる
- ・四季にあった魚と安定供給
- ・高価格で魚を買い取ってくれる
- ・持続可能な漁協経営

農業者

- ・認知や売上につながる
- ・高品質な作物の安定出荷
- ・異業種連携

観光事業

- ・お客さんの満足度が高くて嬉しい
- ・若狭の食ではかせないもの
- ・食で地域が繋がっていく

ぜひ、高浜町へお越しく下さい
ありがとう
ございました。

